

平成 22 年度 統計数理研究所 公開講座 A
「R ではじめる時系列解析」受講者の皆様へ

担当講師：川崎能典 (統計数理研究所)

表記講座開講まで一週間足らずとなりましたが、受講生の皆様へ事前の準備等のお願いがありますので、最後までお読みください。

(PC の持ち込み)

本講座は統計解析のフリーソフトウェア R を使って時系列解析を学ぶ、というのが主旨ですので、受講生の皆さんに各自ノートパソコンを持ち込んでいただき、実際に手を動かして結果を見ながら解説を聞くというのが講座の大半になります。講座を有意義なものにさせていただくためにも、計算機環境は十分前もって整えておいてください。そのための細かな指南を以下に述べます。

仮に PC をお持ちにならなくとも、先着順で受け付けられている限りにおいては受講は可能ですが、主催者は有料無料を問わず PC の貸し出しサービスは一切行っておりませんので、予めご了承ください。

(R のインストール)

受講者の皆さんは、持ち込み予定の PC に、事前にご自分で R のインストールを済ませてからご参加ください。講座の後半で利用するパッケージの要請から、R のバージョンは 2.4.0 以上をご用意ください。R のダウンロードは

<http://cran.r-project.org>

から、インストール方法を含む日本語での各種情報は RjpWiki のサイト

<http://www.okada.jp.org/RWiki>

を参照してください。

講座で利用する OS 環境と R のバージョンは、Windows XP Pro に R 2.10.0 を想定して進めて参ります。Macintosh でも本来は問題ないのかも知れませんが、講師が試した範囲では、以下に述べるパッケージ (vars が依存しているパッケージ strucchange) のロードがうまくいきませんでした。また、Windows Vista へのインストール時にも注意が必要な点があるようです。RjpWiki を参照してください。

最新版の 2.10.0 ではインストーラーで日本語を選択すると、以降のダイアログボックスが文字化けしてしまうようです。その場合でも、インストール時の言語で英語を選択すれば、インストールされた R 自体は日本語で立ち上がります。(開講時点で改善されている可能性もあります。)

(パッケージのインストール)

講座の後半では、パッケージ timsac とパッケージ vars を使います。自宅や職場等、持ち込み予定の PC がネットワークにつながっている状態でパッケージを事前にインストールしておいてください。R のパッケージは、先行して作成されたパッケージを利用しながら機能を追加していくことが殆どであるため、例えば vars なら vars だけのファイルをオフラインで持ってインストールしても、機能を利用することができません。

既にどのようなパッケージを R に取り込んでいるか、逆にどのようなパッケージを追加に入れなければならないか (パッケージの依存関係) は、各自のこれまでの使用履歴に依存して決まります。が、ネットワークにつながった状態でインストールすれば、必要なものは全てダウンロードされますので、是非事前に各自インストールしてください。

パッケージのインストールは、R のプルダウンメニューから「パッケージ」を選択し、更に「パッケージのインストール...」を選択し、パッケージ名を指定します。ダウンロードしたパッケージの読み込みは、「パッケージの読み込み...」から行います。

なお、講座施設内でインターネットへの接続サービスは原則として提供されていません。講座開催中にインターネットへの接続を必要とする場合は、通信カード等で各自接続を確保してください。講座の内容説明に伴って受講者にインターネット接続を求めることは一切ありません。

(フリーソフト＝自助努力)

講座当日、仮に自身の打ち込む R の動作が講師の解説どおりに行かない場合でも、70 名あまりの受講者を前にした講義形式の手前、講師が解説を中断して個々のトラブルシューティングに時間を割くことはあり得ませんので、予めご了承ください。

また、講座で使用する教室における機の配置、講座参加者の混み具合等を勘案しても、サポートメンバーを入れて補助させるのは現実的ではありませんので、この点もご承知起きください。

R はフリーソフトであり、主催者が販売・配布しているものではありません。使いこなすためには一定水準の自助努力が必要です。テキストはある程度は自学自習用が可能な形式にしたつもりですので、講座当日に逐一フォローできなくとも、動作環境が整ってからご自分で試すことも可能と思います。

(演習用データの配布)

講座で使用するデータの多くは既に R の環境やパッケージに含まれているものが殆どですが、データの入出力の演習のために、`baby.txt`, `baby.csv` という 2 つのファイルを用意しています。講座のウェブサイトから取得可能にはしておきますが、場合によっては万全を期して受講者のみなさんへの連絡メールに添付することもあり得ます。いずれも 1KB 程度の非常に小さなファイルですので、通信の負荷としてはたいしたことはないと考えます。ご自分の PC に入れておいてください。

(以上)